

# 和地ひとみレポート No.88

平成 25 年東大和市議会第 2 回定例会：一般質問②『産業振興について』  
**産業振興は将来がイメージ出来る計画を！！**



## ■市の発展に重要な産業振興

…6月4日から開催されていたH25年東大和市議会第2回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

### ① 新学校給食センター建設について

⇒新学校給食センターに市民が活用できる施設を付帯することについて、財政上、衛生管理上の問題を鑑みて現状では考えていないとの答弁を以前頂いているが、他自治体の給食センターの建設計画などについて研究したことはあるか。また、その上で検討の余地はあるか。

### ② 産業振興について

- ・当市における産業振興の位置づけ、重要度について。
- ・『東大和市産業振興基本計画』について
- ⇒現状の当市の強みと弱みを全体、分野別にどのように考えているか。
- ⇒施策の4つの枠組み(基盤整備、資源整備、人材育成、情報発信)それぞれの課題と具体的なイメージと関係者の関わり方はどのように考えているのか。
- ⇒市民も産業振興の関係者となっているが、その関わり方、呼びかけなどについてはどのように考えているのか。
- ⇒計画の進捗管理について PDCA サイクルを実行するとなっているが、具体的にはどのように進捗を管理するのか。
- ⇒産業振興のキーワードとして「観光」を掲げている。
- 基本計画の9年間で観光をキーワードとして各分野でどのような効果を目指しているのか。
- 2回開催した『うまかんべえ～祭』の結果をどのように具体的施策に活用しようと考えているのか。
- 当市と同じような環境の自治体で観光をキーワードとして産業振興を進めている事例を研究しているか。また、参考にしている、事例はあるか。
- 観光以外のキーワードで当市の産業振興に寄与するキーワードを模索し、検討したことはあるか。

…①の新学校給食センターの建設は当市において、最大級の予算 25 億 3000 万円という大事業。また、数十年間使い続ける施設ですので、昨年第3回定例会でも、新学校給食センターについて市民が活用できる施設を付帯できないかについて質問をしました。(①の内容の詳細はNo.87 に記載) ②の産業振興については今年3月に『東大和市産業振興基本計画』が策定されたことを受け、その内容についての不明点などを明確にするために質問として取り上げることとしました。

…地方自治体である市の役割は、住民の福祉の増進を図ることを目的としているため、多岐にわたって様々な取

り組みを行わなければなりません。何を行うにしても財政的な問題が問われています。

また、住民福祉の増進のためには、産業振興基本計画の目的にも挙げられているとおり「市民生活が豊か」になることが重要です。よって、今後の市の発展のためには、産業振興は非常に重要な施策と和地ひとみは考えますが、今回、作成された産業振興基本計画を読んでみても『東大和市ならでは』という取り組みがあまり見られず、一般的なことが多く書かれているばかりで、具体的に市の産業がどのように発展していくのかイメージしづらい。また、産業は、実際には市民が行うもので、行政はその発展のきっかけを作ることや後方支援するしかありません。今回の基本計画の中に書かれている『関係者』には市民が挙げられていますが、関係者となる市民が行動に移せるような内容は書かれていない状態。そこで、今回の質問では『市が考えている産業振興』のイメージをより具体的にするために様々なことを質問しました。

## ■体制と検証の方法は

…まず、産業振興を進めていくうえで、市ではどのような体制を組んでいるのかを確認したところ、課長1名、主査2名、商工観光係3名、農政係1名の計7名の正規職と嘱託員1名、臨時職員3名の合計11名体制となっており、昨年よりも2名増員体制との答弁でした。また、今後は市民や有識者などを含めた実施計画などを作るプロジェクトチームの設置計画の有無について確認すると、今後、設立する(仮称)東大和市産業振興連絡調整会議の中でメンバーについては考慮していきたいとの答弁でした。

…産業振興における現在の当市の課題や弱みについては、商業、工業、農業など全ての産業の分野で後継者不足、高齢化が問題となっています。このような問題は全国的なものですが、その解決策を考えるために、地域の特性を活かし、大学などとコラボレーションをして若者の知恵を活用するなどの工夫をしている自治体も多々あります。当市において、そのようなことは考えているのかを確認したところ大学との連携については具体的な回答はなかったものの、産学連携を視野に、市内への企業誘致も含み、現在、関係団体などと話し合いをするための情報収集に努めているとの答弁でした。

【裏面につづく】

…今回の産業基本計画は今年度からスタートし 9 年間で区切りとして計画が立てられています。しかし、その9年間の道筋＝ロードマップ＝1年目でどこまですすめるかなどは一切記載されておらず、とにかく PDCA サイクル【Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善) を繰り返すこと】をしっかりと行うことが大きく取り上げられているのみ。せめて年次や3年ごとなどのブロックに区切った目標ぐらいは掲げておかないと、9年後には何もできていなかったということになりかねません。そこで、具体的に数値などで検証を行うのかを確認したところ、できる限り数値化するとのことの答弁でした。それについては、第三者が見ても検証結果がわかるような内容にしてほしいと要望しました。

### ■観光以外にキーワードは考えたのか？

…今回の産業振興基本計画のキーワードは『観光』。観光で当市の行なっている大きな事業は『うまかんべえ〜祭り』です。この祭りはイベントとしては一定の成功を収めています、その後の発展に繋がる工夫はまだ足りない状況です。当市のようなベッドタウンという環境の自治体で、観光をキーワードに産業振興策を進め、一定の成果を上げている先進事例として研究している自治体はあるのか確認したところ、兵庫県の西宮市を参考にしているとの答弁。西宮市には甲子園をはじめ多くの観光資源もあり、大学、短大なども10校以上、ホテルも多くあり、当市とは違うのではないかと再度質問したところ、甲子園と西武球場を重ねて考えていること、ゆるキャラで発展していることなどを参考にしているとの答弁でしたが、それについては、首をひねる内容で参考にするのは難しいとの意見を伝えました。

…産業振興を下支えする一つの層としてあげられるのが、いわゆる現役世代の人口。例えば教育や子育てに力を入れて現役世代の人口比率を上げ、税収増をはかるだけでなく、街に活気を呼び起こすなどの取り組みをしてい

る自治体もあります。また、起業を支援する取り組みをおこなって若者の雇用の場を生み出す努力をしている自治体もある中、なぜ、当市が『観光』をキーワードとしたのか確認したところ、いろいろ検討したが、今までになかった『観光』を軸に考えようということがスタートで、観光を横軸に様々な産業をつなげようという考えが強かったとの答弁でした。

### ■関係者がイメージが持って アイデアを出せて、行動できるものに

…今回、質問を行ったことで、企業誘致を考えていること、市内だけに限らず、外からのアイデアも取り込もうとしていることなどは分かりました。しかし、この基本計画を読んでも『計画が終了する9年後にどのように市が変わっているのか』というイメージは、市民には伝わりません。計画というのは、例えば『海に向かうのか』『山に向かうのか』という方向性や目的地が見えれば、そこに参加する人は各々何を準備すればよいのか、どういう風に行動すればよいのかを考えられるもの。しかし、今回の基本計画はその目的地や方向がわかりづらく、なおかつ、当市ならではの視点も感じられません。真に関係者が参加したくなる、また、力を発揮するということに繋がりたいのなら、行政は、まず、その方向性をはっきりと示す必要があります。

…行政が作る、様々な『〜基本計画』。全てはその基本計画から成り立っていくはずですが、内容を見ると、基本計画の作成自体が目的となっているような気がしてならないことがあるのも事実です。

…財政難を理由に、実現したいことをあきらめているばかりではなく、今回の産業振興計画をひとつでも実現化し、その先にある市の発展、市民の福祉の向上まで繋げること、市民が参加する、協力することのできるようリードすることが行政の役割だということを質問の最後に提言させていただきました。

7月4日(木)は参議院議員選挙の公示日。投票日は7月21日(日)です。  
7月4日～21日の間は選挙期間のため、他の活動は法律で禁止されています。  
よって、この間の月曜日の駅頭での市政報告レポート配布はお休みとなります。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思えます。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

【プロフィール】 1970年 東京都北区生まれ。／父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。／卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク (※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換) に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102